

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第121回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第122回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第123回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第124回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第125回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第136回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第137回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第138回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第139回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第140回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第151回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第152回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第153回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第154回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第155回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第166回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第167回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第168回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第169回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第170回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第171回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第172回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第173回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第174回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第175回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第176回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第177回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第178回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第179回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		
第180回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第181回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第182回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第183回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第184回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第185回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第186回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第187回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第188回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第189回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第190回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第191回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第192回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第193回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第194回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第195回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第196回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第197回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第198回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第199回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第200回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第201回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第202回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第203回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第204回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第205回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第206回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第207回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第208回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第209回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第210回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第211回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第212回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第213回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第214回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第215回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習の具体的な内容
第216回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第217回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第218回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第219回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第220回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第221回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第222回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第223回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第224回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第225回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科目名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	480 (16) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301・302・ロボット製作実習室
担当教員	村井 拓人・白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人の前準備とともに、即戦力足り得る人材となる。ITやものづくりに関する専門性を活かして学外でのイベントの企画・運営を実施することで、ファシリテーション能力や他者とのコミュニケーション能力の醸成を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物・イベント運営による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第226回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第227回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第228回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第229回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第230回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第231回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第232回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第233回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第234回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第235回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第236回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域と連携したプログラミング学習イベントを企画・運営できる。	イベント企画書 イベント資料	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	地域と連携したプログラミング学習イベントの実施		
第237回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第238回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会準備		
第239回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		
第240回	実習形式	授業を通じての到達目標	本授業を通じて学んだ知識・技術や課題の遂行結果について整理し発表できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	研修報告会		